

# 木材産業の活性化へ連携

## 情報共有でスキルや雇用強化

瀬林業NOR-TONの森生産者

瀬林業（大阪市、  
遠野嘉之社長）とMO  
RINOWA（宮崎県  
児湯郡、黒木雄太社  
長）、導心林業（同、  
伊東辰也社長）、神田

木材（同、神田智信社  
長）、昇和（宮崎県日  
向市、黒木和也社長）  
ら宮崎県北東部の素材  
生産業者4社は積極的  
な連携、協力を行い、  
木材産業の活性化に寄  
与することを目的に協  
定を結んだ。

原木のマーケティン



ら者での記念撮影。連携を強化する

グや販路拡大、共同で  
行う立木や山林の売買  
や新木場港の輸入材在  
庫などについての情報

に関する情報共有、雇用と人材の育成、連携に必要な現場スキルや営業スキルなどについて協力する。協定期間は2027年12月31日までで、その後は3年ごとに延長する。

協定締結後の勉強会では輸出

共有が行われた。黒木社長は「伐採可能な山が少ない時代に情報共有し互いに高めていきたい」と話す。